

専門診療における遠隔医療の在り方検討部会（仮称）について

1 現状・目的

- ・天候不良により交通アクセスが遮断されて専門医が島に行けず、専門診療を中止することがあるため、令和6年度からオンラインでの遠隔診療支援をメニューに追加し、D（内地医師） to D（島の医師） with P（患者）として、島の医師が行う診療を「支援」する際の経費を補助している。
- ・この形式は、通常の専門診療の実施方法とは異なり、島の医師が通常診療の他に、専門診療の患者も診療する必要があることもあり、現在、活用が進んでいない。
- ・オンラインでの連携診療の今後のさらなる活用を見据え、現在は補助対象としていない形式での実施に関して、課題や実施方法等を検討する。

2 これまでの取組

参考資料4のとおり

3 主な検討内容

- （1）遠隔での実施が可能な診療科・診療内容
- （2）実施にあたって必要となる機器
- （3）実施にあたって必要となる経費
- （4）その他、運用方法（実施ルールや事前の取り決め内容）等

4 委員構成

へき地医療拠点病院、島しょ町村役場、島しょ医療機関、へき地医療対策協議会委員など（計10人程度）

5 スケジュール

令和8年度

- ・6月頃 第1回 PT・部会
- ・7月頃 第2回 PT・部会
検討結果の中間まとめ
- ・12月頃 第3回 PT・部会
検討結果のまとめ
- ・2月頃 へき地医療対策協議会へ検討結果を報告